

2015年2月18日

日本経営倫理学会(JABES)主催

第7回経営倫理シンポジウム

テーマ：『ビッグデータ時代の経営倫理』

ITC技術の延長線上に「ビッグデータ」あるいは「オープンデータ」とよばれるこれまでにない大量のデータを使った分析技術の利活用が本格化してきました。すでに企業経営においてはマーケティングで「ビッグデータ」を使った消費者行動の分析が実践されているし、医療、気象予報、防災など様々な分野で画期的な成果が報告されています。またビッグデータ論者は、これまでの因果論的知識あるいはサンプルからの推測統計学的検証などとは次元を異にした全く新しい知識論を主張しており倫理的観点からも十分な討議が必要とされています。

今回のシンポジウムではビッグデータの持つ可能性を経営と倫理との両面から考察することを目的に、学界および実務界から

この分野の専門家をお呼びして、講演とパネル討論を実施します。（案内状プリント・アウト用ダウンロード→）

◆日時：2015年3月28日（土）13:00～16:25

◆会場：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎4階447教室(キャンパスマップ⑥の建物) →

◆アクセス：

田町駅（JR山手線・京浜東北線）徒歩8分

三田駅（都営地下鉄浅草線・三田線）徒歩7分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩8分

◆参加費：正会員・一般 …¥2,000

学 生 無 料

◆主 催：日本経営倫理学会

◆基調講演1：国領 二郎 先生（慶應義塾大学常任理事、総合政策学部教授）

東京大学経済学部卒業。ハーバード大学経営学博士。日本電信電話公社勤務。慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授、同大学環境情報学部教授、同大学 SFC 研究所長を経て現在に至る。

著書『ソーシャルな資本主義』（日本経済新聞社・2013年）

◆基調講演2：井上 潤吾 先生（ボストン コンサルティング グループ シニア・パートナー、

マネージング・ディレクター）、東京大学工学部卒業。同大学院工学系研究科修了。

ペンシルバニア大学経営学修正（MBA）、国際電信電話株式会社、BCG アムステルダムオフィスを経て現在に至る。

著書『守りつつ攻める企業』（東洋経済新報社・2011年）

◆参考書

マイヤー＝ションベルガー、ケネス・クキエ『ビッグデータの正体：情報の産業革命が世界のすべてを変える』（講談社・2013年）

トーマス・H・ダベンポート『データ・アナリティクス 3.0』（日経BP社、2014年）

◆スケジュール

12:30 受付開始

13:00-13:10 開会の辞 高橋 浩夫 JABES 会長・白鷗大学教授

13:10-13:55 基調講演 1 国領 二郎先生 慶應義塾大学 テーマ「ビッグデータと顕名経済」

13:55-14:40 基調講演 2 井上 潤吾先生 ポストンコンサルティンググループ

テーマ「ビッグデータの価値創造：活用事例と活用に向けたチャレンジ」

14:40-15:00 休憩

15:00-16:15 シンポジウム

◆登壇者◆

国領二郎先生 井上潤吾先生

高野一彦先生（関西大学教授 法学・JABES 理事）

村田 潔先生（明治大学教授 情報倫理・経営情報学）

◆司会◆ 梅津光弘（慶應義塾大学准教授・JABES 副会長/シンポジウム実行委員長）

16:15-16:25 閉会の辞

【第7回経営倫理シンポジウム参加申込書】ダウンロード→ 

Email info@jabes1993.org

日本経営倫理学会（JABES）

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5-4 桜井ビル 3F

Email info@jabes1993.org URL <http://www.jabes1993.org/>